

2018年度 地域連携シンポジウム

～ヨコハマ・かながわの潜在力を活かした地域連携を探る～

プログラム

1. 開会あいさつ (14:30) 国際・地域・広報担当理事/副学長 中村 文彦

2. 地域実践アワード2018 (14:33～15:40)

活動概要について 地域実践教育研究センター長 小池 文人

[活動報告]

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ① モビリティデザインの実践 | ⑫ みなとまちプロジェクト |
| ② かながわ里山探険隊 | ⑬ ローカルなマテリアルのデザイン |
| ③ かながわニューツーリズム | ⑭ 商店街とまちを繋ぎ、子どもと大人が
コミュニケーションを多くとれるまち
ー上星川プロジェクトー |
| ④ 都市の自然を楽しむライフスタイル | ⑮ 横浜うみみらいプロジェクト |
| ⑤ データで捉える地域課題・地域経済 | ⑯ ワダヨコ |
| ⑥ 現代世界の課題の探索と協力の実践 ーネパール支援プロジェクトー | ⑰ 和田べんプロジェクト |
| ⑦ 横浜で屋台まちづくりを考える ーハマヤタイププロジェクトー | ⑱ 人と農業を繋げる ーアグリッジプロジェクトー |
| ⑧ New-New Town を考える ー郊外まちづくりプロジェクトー | ⑲ アグリッジ商品開発 |
| ⑨ まちに開いた交流の場デザイン | |
| ⑩ おおたクリエイティブタウン研究プロジェクト | |
| ⑪ 市民活動を体験して考える協働まちづくりプロジェクト | |

3. 地域連携ディスカッション YNUの地域の研究と学生活動 (15:40～16:10)

- ① 地域研究のポスター発表
- ② 地域課題実習のポスター発表
地域実践アワード投票

4. パネルディスカッション ヨコハマ・かながわの潜在力を活かした地域連携を探る
(16:10～17:20)

1Rd 基調報告・事例紹介

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ① 基調報告1 横浜国立大学の地域連携の現状と課題 | 高見沢 実 (学長補佐 [地域・広報担当]) |
| ② 基調報告2 寛容さがもたらす持続性～神山町の事例 | 伊藤 暁 (伊藤暁建築設計事務所) |
| ③ 箱根町の大学連携の取り組み | 伊藤 和生 (箱根町企画観光部企画課 副課長) |
| ④ 地域から大学と連携するということ | 宮田 芳文 (校友会評議員、富丘会理事長) |

2Rd ディスカッション

5. 全体総括と講評

6. 閉会のご挨拶 学長 長谷部 勇一